

産学官学術交流 フォーラム

2017年度 京都大会 3日目開催

3月19日
13:50開始

京都女子大学
Q35会場（Q校舎301）

参加無料・登録不要 ※技術交流会への参加は、日本農芸化学会2017年度大会への参加申込が必要です

第1部 農芸化学研究企画賞発表会（13:50～15:04）

第14回受賞研究 研究企画発表会

伊藤 康博（農研機構）

「ゲノム編集による果実成熟制御の解明と高品質果実の作出」

芦内 誠（高知大学）

「“ホモキラルポリ-γ-グルタミン酸”生合成装置の分子解析と微生物工学利用」

藤井 克彦（山口大学）

「消化汚泥を基質とした水素発酵に関するバイオテクノロジー基盤研究」

第13回受賞研究 中間報告会

臼井 健郎（筑波大学）

「非侵襲的薬剤投与法を可能にする上皮タイプジャンクション可逆的開口剤の開発」

仲川 清隆（東北大学）

「食後高血糖改善成分を含む新規食材の活用に関する研究」

笠井 大輔（長岡技術科学大学）

「廃棄ゴムの再資源化を目指したゴム処理技術の革新」

第12回受賞研究 最終報告会

浅見 行弘（北里大学）

「ゼブラフィッシュの受精卵感染モデル系を利用した抗感染症薬シーズの探索」

南 博道（石川県立大学）

「微生物発酵法による植物アルカロイド生産と生薬生理活性物質の創製」

第2部 シンポジウム（15:15～18:20）

「トッランナーが語る研究開発ビジョン～未来価値の創造～」

辻村 英雄（サントリーホールディングス株式会社・専務取締役）

“やってみなはれ精神”での新規事業創出への挑戦



仲尾 功一（タカラバイオ株式会社・代表取締役社長）

タカラバイオの事業戦略



荒蒔 康一郎（日本バイオ産業人会議・世話人代表）

坂元 雄二（日本バイオ産業人会議・事務局次長）

2030 年を想定したバイオ産業の社会貢献ビジョン



秦 洋二（月桂冠株式会社・常務取締役 兼 総合研究所長）

『酒（しゅ）を科学する』月桂冠の研究開発について



第3部 技術交流会（18:30～ A校舎地下 1 階 食堂）

農芸化学研究企画賞・大会トピックス演題 ポスターセッション ※技術交流会は大会ミキサーと合同開催

主催：日本農芸化学会「産学官学術交流委員会」

企画：日本農芸化学会「産学官若手交流会（さんわか）」

詳細は2017年度京都大会ホームページをご覧ください。

http://www.jsbba.or.jp/2017/program_sanwaka.html

